

サツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科) の白浜町と田辺市への再出現  
 Reappearance of *Opisthoptatia orientalis* (Blattaria, Blattoidea) at Shirahama town and Tanabe city, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南方系のゴキブリ類の1種, サツマゴキブリ *Opisthoptatia orientalis* は, 1999年以降から白浜町では記録され, 最近では白浜町に加えて田辺市でも発見された。それらは, 道路上を歩行したり, 道路上で死亡していた個体, および海岸に漂着死亡していたものだが, 白浜町では冬季の凍死を免れて本種は定着していると推定されている (後藤, 2000; 樫山・久保田, 2002, 2010; 久保田, 2006a, b, 2008, 2009)。

本年の2010年に入って, これまで報告済みの2箇所でも再び遭遇したので, 今回, 報告する。3回の遭遇はいずれも夏季で, 同年7月22日早朝, 和歌山県西牟婁郡田辺市新庄公園の南側入口で, 頭部1個の断片を発見した。続いて, 同年7月25日明け方に, その入口から樹木のよく茂った遊歩道に入ったばかりの所で, 小型の生体1個体が元気よくはっているのに遭遇した。以前には, ここでは, 同じ遊歩道を少し下った場所で, 死亡個体が1個体発見されたが (久保田, 2008), 今回の遭遇で, このあたりには生体がいることがわかった。

一方, 白浜町臨海に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所の正門から構内へ入ったばかりの道路上に, 生きた1個体が, 2010年8月6日の0時頃の真夜中に, 元気よくはっているのを目撃した。この遭遇は, この場所での再確認となり, 前回と同様に (久保田, 2009), 深夜に出現した生体であった。

なお, これらの生体 (2個体) や死体 (1個体) は, 標本用に採取していない。また, いずれの写真撮影も行わなかった。

## 引用文献

- 後藤 伸, 2000. 「虫たちの熊野」, pp. 77-81, 初版第1版, 紀伊民報, 田辺市, 和歌山県.  
 樫山 嘉郎・久保田 信, 2002. 和歌山県白浜町産の熱帯系ゴキブリ類3種 (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 南紀生物, 44 (2) : 153-154.  
 樫山 嘉郎・久保田 信, 2010. 和歌山県白浜町の海岸へ漂着した2個体目のサツマゴキブリ. KINOKUNI, (77) : 22.  
 久保田 信, 2006a. 「宝の海から 白浜で出会った生き物たち」. 233pp., 紀伊民報, 田辺市.  
 久保田 信, 2006b. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, (70) : 10-11.  
 久保田 信, 2008. サツマゴキブリ (マダラゴキブリ科) を田辺市新庄総合公園の山道で発見. KINOKUNI, (73) : 10.  
 久保田 信, 2009. 瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類の第3の種, サツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 22:36.